

文末助詞“了”の先行研究の検証

鄧 宇 陽

Abstract

This paper aims to verify the previous research of the topic, which is about the semantics, formal features and pragmatic functions of the sentence-final particle “LE” from 1995 to 2020. In other words, the aim of this paper is to comprehensively summarize the research results and problems of the semantics, formal features and pragmatic functions of the sentence-final particle “LE”.

キーワード……文末助詞“了” 意味 構文特徴 語用論的機能 問題点

1 はじめに

中国語学において、助詞“了”は語尾“了”と文末助詞“了”に分けられ、語尾“了”は“了1”とも呼ばれ、文末助詞“了”は“了2”とも呼ばれる(呂叔湘 1999:351)。「了”は、『馬氏文通』から百余年を経てなお多くの研究者を悩ませ続けている」(武村 2016:28)。特に“了2”については未だに解明されていないところが多いというのが事実である(呂为光 2007:147-149)。本論文は、中国の学術論文や書籍の情報を収録する最大規模の学術情報データベースであるCNKIと、日本国立情報学研究所が運営する学術情報データベースであるCiNiiを通して検出した200本あまりの“了2”関係の論文、また、中国、日本、アメリカ、イギリスなどの国で収集した30冊あまりの“了2”関係の著作をもとに、1955年から2020年までの“了2”の研究成果とその問題点を全面的に整理するものである。

2 文末助詞“了”の意味に関する先行研究とその問題点

2-1 文末助詞“了”の基本的意味を説明するための意味概念

歴史的には、“了2”の主観的意味・モダリティの意味は“了2”の客観的意味・命題の意味から生まれてきた¹⁾。そのため、先行研究では“了2”の客観的意味・命題的意味が“了2”の基本的意味²⁾と捉えられる(肖治野・沈家煊 2009:524)。“了2”の基本的意味を説明するためには、通常「変化」(变化)、「出現」(出现)、「実現」(实现)、「発生」(发生)という4つの概念が用いられる³⁾。例えば、沈开木(1987)、呂叔湘(1999)、譚春健(2003)などは「変化」という意味概念、太田(1958)、竟成(1993)、王维贤(1997)などは「実現」という意味概念、朱德熙(1982)、杉村(2009)、肖治野・沈家煊(2009)、周小兵・欧阳丹(2014)などは「出現」という意味概念、守屋(1995)、张立昌(2014)などは「発生」という意味概念で“了2”の基本的意味を捉える。また、上述の意味概

念と「確認」（確認）、「肯定」（肯定）などのモダリティ的概念を組み合わせて“了 2”の基本的意味を規定する研究も見られる⁴⁾。例えば、“了 2”の基本的意味について、守屋(1995)は「状況が変化した、新事態が発生したことを確認した」と定義し、呂叔湘(1999)は「事態の変化が出現したことを肯定したか、または、その変化が出現しようとしていることを肯定した」⁵⁾と定義している。しかしながら、“了 2”の基本的意味は一体何かという問題をめぐって、目下国内外においても論争が続いており、統一的な見解はない。例えば、周小兵・欧阳丹(2014)は、「中国語学習者にとって、『変化』という概念が示す特徴の有無を基準に“了 2”を使用するということこそが、“了 2”の誤用をもたらす直接的な要因である。そのため、日常の中国語の授業では、『変化』という用語の代わりに、朱德熙(1982)の『新状況の出現』という用語を使用したほうがよい。『変化』という用語は中国語学習者の“了 2”の習得を妨げるため、避けたほうがよい」⁶⁾と述べ、「出現」という意味概念を主張している。杉村(2009)、肖治野・沈家煊(2009)も同様に主張する。それに対して、彭小川・周芍(2005)、陈小红(2007)などは「出現」という意味概念に異議を唱えている。一方、张立昌(2014)は「発生」という意味概念を主張しているが、吴凌非(2002)は「発生」に異議を唱えている。

ところで、“了 2”の基本的意味について論争する際に、「変化」、「出現」、「実現」、「発生」などの概念が指示する意味の共通性を追究する研究もある。例えば、刘勋宁(1998)によれば、「出現」と「発生」は「用語の違い」（用词的差别）に過ぎず、「対立的概念」（对立性的概念）ではない。肖治野・沈家煊(2009)、陆方喆(2014)によれば、「実現」は「出現」に相当する。郭锐(2008)によれば、『変化、新状況の出現』という意味は、もともと『実現』の意味そのものが何らかの命題（あるいは文）と相互作用することから生まれる二次的効果に過ぎない⁷⁾。刘月华他(2001)によれば、「いわゆる『実現』は『現実になる』という意味を表し、『発生』、『出現』も同様の意味を表す。ただし、『発生』、『出現』より、『実現』の方が意味がやや広い。中国語教材で見られる『新状況の出現』や『変化』はこの『実現』のことを指している」⁸⁾。もし「変化」、「出現」、「実現」、「発生」などの概念が指示する意味が本質において共通しているとしたら、次の(1)の“了 2”が明らかに伝えるのが[+変化]の意味特徴ではなく、[+出現]、[+発生]などの[-変化]の意味特徴であるのはなぜであろうか(杉村 2009:5-6)。

(1)那天晚上下雨了⁹⁾。(杉村 2009:5)

(その夜に雨が{降った・降ることが発生した}。)

また、次の(2)の“了 2”が明らかに伝えるのが[+変化]の意味特徴であり、[+出現]、[+発生]などの[-変化]の意味特徴ではないのはなぜであろうか(吕文华 2010:552-553)。

(2)蔬菜便宜了。(吕文华 2010:553)

(野菜が安く{なった・変わった}。)

2-2 文末助詞“了”の三域の意味

Sweetser(1990)は、複文の意味を内容域(real-world content domain)、認識域(epistemic domain)、言語域(speech-act domain)という3つの側面から捉えることが可能であるということを提示している。Sweetser(1990)と沈家煊(2003)を踏まえて、肖治野・沈家煊(2009)は“了2”の三域の意味を提起している。内容域における“了2”は主に何らかの客観的な動態を示すので、肖治野・沈家煊(2009)は“了2”の内容域を行為域(行域)と呼んでいる。肖治野・沈家煊(2009)は“了2”の行為域、認識域、言語域の意味をそれぞれ「新しい行為状態の現れ」(新行态的出现)、「新しい認識状態の現れ」(新知态的出现)、「新しい言語状態の現れ」(新言态的出现)と記述している。「新しい行為状態の現れ」とは何らかの命題的客観性を持つ動態が生じたということであり、「新しい認識状態の現れ」とは発話者の何らかの認識や意識が生じたということであり、「新しい言語状態の現れ」とは発話者の何らかの言語行為が生じたということである。肖治野・沈家煊(2009)が提示している“了2”の三域説は“了2”の多義性の問題の解決に有効性を示している。ただし、肖治野・沈家煊(2009)の“了2”の三域の意味に関する意味記述には次の4つの問題点が残されている。

第一に、“了2”の三域の意味は「新しい行為状態の現れ」、「新しい認識状態の現れ」、「新しい言語状態の現れ」と記述されているが、現実的には、“了2”は必ずしも「新しい」状態を示すとは限らない。例えば、次の(3)の下線部を考えよう。

(3)A:那个是谁?

B:那个是我女儿。

A:不可能, 我看不像你女儿。

B:不会吧?让我再看看……哎呀!没错了!那个是我女儿了!

(<https://tieba.baidu.com/p/6209479319> 閲覧日:2019年7月29日)

(A:あの人是谁?)

(B:あれは私の娘だ。)

(A:嘘、あなたの娘に似ていないし。)

(B:何?ちょっと確かめさせて……ほら!間違いないわよ!あれは確かに私の娘だよ!)

(3)の“那个是我女儿”(あれは私の娘だ)という内容は、命題的客観性を持つ動態が生じたということを示さず、発話者の何らかの判断や認識か、または何らかの発話や言語行為が生じたということを示すので、肖治野・沈家煊(2009)が述べている「認識状態」と「言語状態」として扱うべきである。また、“那个是我女儿”(あれは私の娘だ)という内容は2回現れている。もし、

「認識状態」または「言語状態」として扱おうとすれば、2回目に現れている“那个是我女儿”（あれは私の娘だ）という判断または発話はもはや新しく現れたものではなく、「古い認識状態」または「古い言語状態」になったということが分かる。通常“了2”は未知情報または新情報を伝える機能があると言われる一方¹⁰⁾、既知情報または旧情報を伝える機能もあるという指摘も見られる¹¹⁾。したがって、「新しい」という意味記述の妥当性が疑問となっている。

第二に、「新しい行為状態/認識状態/言語状態の生起」という意味記述は大まかであり（陈前瑞・吴继章 2019:58）、非中国語母語話者にとって実用的な定義・意味記述ではない。次の(4)を考えよう。

(4)a. 昨天收到妈妈的信，我很高兴了。（赵立江 1997:114）

（昨日母の手紙が届いて、?とても嬉しかった。）

b. 昨天收到妈妈的信，我很高兴。（赵立江 1997:115）

（昨日母の手紙が届いて、とても嬉しかった。）

例えば、日本人学生が「昨日母の手紙が届いて、とても嬉しかった」という日本語の文を中国語に訳す場合、もし「とても嬉しかった」という情報を「新しい行為状態の現れ」または「新しい認識状態の現れ」として捉えたら、(4a)に訳してしまう可能性がある。しかし、赵立江(1997)が指摘するように、別の発話場面や文脈が付与されなければ、(4a)は、(4b)より容認度が低い文として捉えられやすい。そのため、「新しい行為状態/認識状態/言語状態の生起」という意味記述は大まかであり、非中国語母語話者にとって実用的な意味記述ではない。また、次の(5)も考えよう。

(5)a. 刚才我在看电视，现在我在洗衣服了¹²⁾。

（さっき私はテレビを見ていたが、今は服を洗っている。）

b. 刚才我在看电视，现在我在洗衣服。

（さっき私はテレビを見ていたが、今は服を洗っている。）

「さっき私はテレビを見ていた」という情報と「今は服を洗っている」という情報を比較すれば分かるように、後者は「新しい行為状態の現れ」と捉えられる。後者を「新しい行為状態の現れ」と捉えるとしても、(5a)と(5b)が示すように、後者に“了2”を付与してもしなくても構わない。なぜならば、ある意味で、(5)における“在”（ている）という機能語も「新しい行為状態の現れ」を示すからである。特に、王巍(2010)から明らかなように、もし「さっき私はテレビを見ていた」という情報が付与されなければ、(5b)の“现在我在洗衣服”（今は服を洗っている）という文は依然として自然であるが、(5a)の“现在我在洗衣服了”（今は服を洗っている）と

いう“了2”構文は不自然になる。要するに、「新しい行為状態/認識状態/言語状態の生起」という意味記述は大まかであり、非中国語母語話者の“了2”の習得に役立たないと考えられる。

第三に、肖治野・沈家煊(2009)は「新しい認識状態の現れ」と「新しい言語状態の現れ」という意味記述を“我想[P]了”(私は[P]を考えた)と“我说[P]了”(私は[P]を言った)という2つの意味記述で再解釈しているが、“我想[P]了”も“我说[P]了”も大まかな意味記述であり、非中国語母語話者にとって実用的な定義・意味記述ではない。“我想[P]了”(私は[P]を考えた)における“想”(考えた)と、“我说[P]了”(私は[P]を言った)における“说”(言った)は、日常生活でよく用いられる具体的、狭義的な概念でなく、発話者の各種類の精神活動と言語行為を包括する抽象的、広義的な概念である。例えば、“想”は「考える」、「思う」、「推測する」、「判断する」、「評価する」などの全種類の精神活動・「認識状態」のことを指し、“说”は「言う」、「発表する」、「主張する」、「質問する」、「命令する」、「願う」、「勧める」などの全種類の言語行為・「言語状態」のことを指す。しかし、通常の会話であれば、どのような会話文でも発話者の広義的な“想”と“说”が働いた上で成り立つものである。つまり、どのような会話文でも広義的な“想”と“说”が指示する意味を持つということである。これは、広義的な“想”と“说”が指示する意味は“了2”特有の意味ではなく、通常の会話文ならどのような言語形式でも持つべき意味であるということの意味する。こうして、“想”と“说”という広義的な概念で“了2”の意味を再定義・再記述する必要性に疑問が生じる。

第四に、循環定義という問題点も目立つ。肖治野・沈家煊(2009)は「新しい認識状態の現れ」と「新しい言語状態の現れ」という意味記述を“我想[P]了”(私は[P]を考えた)と“我说[P]了”(私は[P]を言った)という2つの意味記述で再解釈しているが、“我想[P]了”と“我说[P]了”という意味記述自体には“了2”が含まれているので、循環定義の問題を引き起こしかねない。

第五に、1つの文における“了2”は1つの域の意味を表すだけでなく、複数の域の意味を表す可能性もあり、意味間の「重なる状況が想像以上に複雑であり、当該研究の発展がまだ待たれる」¹³⁾という問題点も肖治野・沈家煊(2009)に指摘されている。そのため、“了2”の三域の意味の「重なる」関係を明らかにする必要もある。

2-3 文末助詞“了”の動相的意味

「中国語の動相体系を築くためのカギは“了”であると言っても過言ではない」¹⁴⁾(张黎 2010:20)。それでは、“了2”と動相の関係についての研究はどこまで進んでいるのか。動態助詞と呼ばれる“了1”は動相標識であるということには異論の余地がないが、文末助詞や語気助詞と呼ばれる“了2”も動相標識であるのかについては統一な見解がない。先行研究から明らかのように、“了2”は動相標識ではないという主張がある。例えば、Li 他(1982)が指摘するように、動相標識は動詞のカテゴリーに属するが、“了2”は動詞のカテゴリーに属さないため、どうにも動相標識として位置づけられない。また、吴凌非(2002)、彭小川・周芍(2005)、石定栩・胡建

华(2006)、彭利贞(2011)などは、“了1”は動相的意味を表すが、“了2”は純粋な語気助詞であり、動相的意味を表さないと主張している。“了2”は動相標識ではないにもかかわらず、刘月华他(2001:361-392)によれば、実際使用において、具体的な発話場面や文脈に用いられると、“了2”は“了1”の動相的意味も表す。また、陈平(1988)、王维贤(1997)、朱繼征(2000)、金立鑫(2003)、Lin(2003)、劉綺紋(2006)、杉村(2009)、张黎(2010)、税昌锡(2012)、夏炎青(2017)などの研究成果も刘月华他(2001)の主張を直接的もしくは間接的に裏付けている。さらに、史冠新(2011)は“了2”を語気助詞のカテゴリから除外しようと呼びかけている。これらの研究成果から明らかのように、具体的な発話場面や文脈を合わせた上で、“了2”も動相的意味を表す。ただし、“了2”の動相的意味に関する先行研究は、どのような動相的意味を表すかという問題の考察だけにとどまり、どのように動相的意味を表すか、つまり、“了2”の動相的意味の形成メカニズムは何であろうかという問題にはまだ触れていない。また、先行研究において、“了2”と“了1”の動相的意味の相違は何であろうかという問題もまだ考察されていない。

2-4 文末助詞“了”の時制的意味

もともと時制とは、一定の標識や語形変化¹⁵⁾によって表される事象時間(point of event)、参照時間(point of reference)、発話時間(point of speech)の前後関係を指す¹⁶⁾。一定の標識や語形変化は時制の形式的特徴を示し、違う時間要素の前後関係は時制の意味的特徴を示す。このように、時制という文法カテゴリーは形式的特徴と意味的特徴から構成されるということが分かる。そのため、本論文は時制を時制的意味と時制形式に分ける。本論文で述べる時制的意味とは、事象時間、参照時間、発話時間の前後関係を指す。時制形式とは、事象時間、参照時間、発話時間の前後関係を指す一定の標識や語形変化などの言語形式を指す。

時制は相対時制(relative tense)と絶対時制(absolute tense)に大別される(Comrie 1985:122-125)。相対時制とは、一定の標識や語形変化によって表される、時間軸における事象時間と参照時間の位置関係である。絶対時制とは、一定の標識や語形変化によって表される、時間軸における事象時間と発話時間の位置関係である。一般に時制というのは絶対時制のことを指す(劉綺紋 2006:25)。また、絶対時制は過去時制、未来時制、現在時制という3種類に細別される(Comrie 1985:122-125、劉綺紋 2006:25)。過去時制とは、一定の標識や語形変化によって表される、事象時間が発話時間より早いという時間関係である。未来時制とは、一定の標識や語形変化によって表される、事象時間が発話時間より遅いという時間関係である。現在時制とは、一定の標識や語形変化によって表される、事象時間が発話時間に等しいという時間関係である。本論文で述べる“了2”の時制問題は主に“了2”の絶対時制の問題である。

ところで、どこの国の言語であっても、事象時間、参照時間、発話時間という3つの時間要素の前後関係、つまり本論文で述べる時制的意味を表すことができるということは否認できない。中国語もそうである。仮に、中国語の時制的意味が一定の標識や語形変化によって表され

るとすれば、つまり、中国語が一定の時制形式を持つとすれば、中国語は時制という文法カテゴリを持つと言っても問題ない。しかし、中国語の時制的意味が一定の標識や語形変化などの時制形式によって表されるかどうかという問題について統一的な見解はない。つまり、中国語が時制という文法カテゴリを持つかどうかについて定論はない。何伟・马瑞芝(2011)から明らかのように、この問題をめぐる論争は2種類の主張に分かれている。1つは中国語が時制という文法カテゴリを持たないという主張であり、もう1つは中国語が時制という文法カテゴリを持つという主張である。本論文は、“了2”が時制形式としての地位を持つかどうかという問題には触れずに、“了2”が時制的意味を表すかどうか、表せばどのような時制的意味を表すかなどの時制的意味に関する問題だけを考察する。

“了2”の時制的意味に関する先行研究から分かるように、過去時制的意味を表すという主張もあれば¹⁷⁾、過去時制的意味だけでなく、未来時制的意味も表すという主張もある¹⁸⁾。本章の(1)、(2)という“了2”構文は事象時間が発話時間より早いという時間関係、すなわち過去時制的意味を表すが、次の(6)という“了2”構文は事象時間が発話時間より遅いという時間関係、すなわち未来時制的意味を表す。

(6) 来了!来了!我这就来了。(陈前瑞 2005:67)

(来るよ!来るよ!今来るから。)

しかし、王伟(2006)と彭利贞(2011)は、一部の“了2”構文が示す未来時制的意味は“了2”に由来するのではなく、特定の文脈に由来するのであり、“了2”は未来時制的意味を表さないと主張する。先行研究において、“了2”が未来時制的意味を表すかどうかについてはまだ統一的な説明が与えられていない。

過去時制的意味を表す目的で“了2”を用いると、文の容認度を低下させる可能性がある。例えば、杨凯荣(2013)、黄瓚辉(2016)が指摘するように、次の(7)-(10)はいずれも過去時制的意味を表すが、他の発話場面が付与されなければ、“了2”が用いられる a 例のほうが、“了2”が用いられない b 例より容認度が低い。

(7)a. 我昨晚看一场精彩的电影了。(黄瓚辉 2016:53)

(?昨日の夜、私は素晴らしい映画を1本見た。)

b. 她昨晚看了一场精彩的电影。(黄瓚辉 2016:52)

(昨日の夜、彼女は素晴らしい映画を1本見た。)

(8)a. 他随随便便地回答我了。(杨凯荣 2013:33)

(?彼に勝手に答えられた。)

文末助詞“了”の先行研究の検証（鄧宇陽）

b.他随随便便地回答了我。(杨凯荣 2013:33)
(彼に勝手に答えられた。)

(9)a.?弟弟昨天一边看电视，一边做作业了。(杨凯荣 2013:41)
(?弟は昨日テレビを見ながら宿題をしていた。)
b.弟弟昨天一边看电视，一边做作业。(杨凯荣 2013:41)
(弟は昨日テレビを見ながら宿題をしていた。)

(10)a.?他 12 点才睡觉了。(杨凯荣 2013:37)
(?彼はいつもより遅く 12 時に寝た。)
b.他 12 点才睡觉。(杨凯荣 2013:37)
(彼はいつもより遅く 12 時に寝た。)

先行研究から分かるように、(7a)-(10a)が示すような文は非中国語母語話者によるものが特に多い¹⁹⁾。では、過去時制的意味を表す目的で“了 2”を用いると、なぜ文の容認度を低下させる可能性があるのか。また、非中国語母語話者にとって、過去時制的意味を表す目的で“了 2”を用いる際、何に注意しなければならないのか。

“了 2”が現在時制的意味を表すという主張は少ないが²⁰⁾、“了 2”が常に「現在関連性」(currently relevant state)を表すという主張はよく見られる²¹⁾。「現在」という発話時間がもともと絶対時制という文法カテゴリーの重要な構成要素の 1 つであるので、本論文は「現在関連性」における「現在」という時間要素に関する問題も“了 2”の時制的意味の問題に類別する。ところで、なぜ“了 2”が常に「現在関連性」を表すのかについては未だに根本から解明されていない。

2-5 文末助詞“了”の意味に関する問題点

以上の分析に基づいて、“了 2”の意味に関する先行研究の問題点を表 1 でまとめる。

表1. “了2”の意味に関する問題点

問題(1)	“了2”の基本的意味を説明するための意味概念をめぐって論争が生じる理由は何であろうか。
問題(2)	“了2”が[+変化]の意味特徴を表すための前提条件は何であろうか。
問題(3)	肖治野・沈家煊(2009)による「新しい行為状態の現れ」、「新しい認識状態の現れ」、「新しい言語状態の現れ」という“了2”の三域の意味記述をどのように具体化・実用化すればよいのか。
問題(4)	“了2”の意味間の関係は何であろうか。
問題(5)	過去時制的意味を表す目的で“了2”を用いると、なぜ文の容認度を低下させる可能性があるのか。
問題(6)	非中国語母語話者にとって、もし“了2”構文以外の文脈的要素を考慮せずに“了2”を用いて過去時制的意味を表そうとすれば、何に注意しなければならないのか。
問題(7)	“了2”はどのように動相的意味を表すのか。つまり、“了2”の動相的意味の形成メカニズムは何であろうか。
問題(8)	“了2”と“了1”の動相的意味の相違は何であろうか。
問題(9)	“了2”は時制的意味を表すのか。
問題(10)	“了2”の時制的意味に関する先行研究においては過去、未来、現在などの時間的要素が混在しているように見えるが、その時間的矛盾を如何に解消すればよいのか。

(出所)筆者作成

3 文末助詞“了”の構文特徴に関する先行研究とその問題点

3-1 文末助詞“了”の三域の意味を生み出すための構文的条件

“了2”の三域の意味を考察する先行研究は肖治野・沈家煊(2009)、張宝胜(2011)、邓思颖(2013)、周小兵・欧阳丹(2014)などがある。しかしながら、それらの研究は主に“了2”の各域の意味の使用状況に関心を持っており、“了2”の各域の意味に対応する構文特徴には関心を持っていない。例えば、“了2”は特定の域の意味を表すためにどのような構文特徴を備えなければならないのか、あるいは、“了2”の三域の意味を生み出すためのそれぞれの構文的条件は何かという問題についてはまだ考察されていない。

3-2 「特定の文成分+“了2”」構文における文成分の特徴

通常中国語の文成分は主語(主语)、述語(谓语)、目的語(宾语)、連体修飾語(定语)、連用修飾

語(状語)、補語(補語)という6種類に分けられる。

通常「複数の文成分+“了2”」構文は「特定の文成分+“了2”」構文に短縮することができる(彭利貞 2011:198-218、祁峰 2012:37-39)。例えば、次の(11)が示す発話場面において、Bさんは“那天晚上下雨了”(その夜に雨が降った)という「複数の文成分+“了2”」構文の形でAさんに答えてもよい他に、“下了”(降った)という「特定の文成分+“了2”」構文の形で答えてもよい。一方、“那天晚上了”(その夜になった)や“雨了”(雨になった)というような「特定の文成分+“了2”」構文で答えては不自然になる。

(11)A: 那天晚上下雨了吗?

B: 那天晚上下雨了。/下了。/#那天晚上了。/#雨了。²²⁾。(鄧宇陽 2019:50)

(A: その夜に雨が降ったか?)

(B: その夜に雨が降った。/降った。/#その夜になった。/#雨になった。)

もし、次の(12)、(13)が示す発話場面や文脈が付与されれば、Bさんは“那天晚上了”(その夜になった)や“雨了”(雨になった)でAさんに答えたほうが自然であるが、“下了”(降った)で答えれば逆に不自然になる。

(12)A 和 B 住的地区有这样一个现象:每周三早上必定下雨, 而且都是周三的早上下雨, 周三其他时间段从来不下雨。这种现象持续了很多年。突然, 上周三的下雨时间出现了异常:早上没下雨, 反而变成了晚上下雨。由于 B 还不知道这个事, 于是 A 对 B 说:“上周三出现怪事了!那天虽然下雨了, 但不是早上下雨, 你知道是什么时间吗?” B 问:“不是早上还能是什么时候?” A 说:“那天晚上下雨了!晚上了!”

(AさんとBさんが住んでいる地域にはおもしろい自然現象がある。毎週の水曜日の朝は雨が必ず降り、水曜日の朝以外の時間帯には必ず降らないのである。ところが、先週の水曜日の朝は雨が降らず、夜に降るという珍しいことがあった。Bさんがその珍しいことをまだ知らないので、AさんはBさんに教えている。Aさんは、「先週の水曜日は変なことがあったんだよ!その日は雨が降ったけど、降った時間が朝じゃなかったんだよ。」と言った。Bさんは、「朝じゃなかったの?いつのことだったの?」と聞いた。Aさんは、「その夜に雨が降ったよ。夜になったよ。」)

(13)A 和 B 住的地区有这样一个现象:该地区几乎从来不下雨, 但是会经常下沙。不料, 上周三的深夜下雨了, 而不是下沙。由于 B 还不知道这个事, 于是 A 对 B 说:“上周三出现怪事了!那天晚上从天空飘下来的不是沙, 你知道是什么吗?” B 问:“不下沙那还能下什么?” A 说:“雨了!那天晚上下雨了!”

(AさんとBさんが住んでいる地域にはおもしろい自然現象がある。雨はめったに降らない

が、砂はよく降るのである。ところが、先週の水曜日の深夜は砂の代わりに雨が降った。Bさんがその珍しいことをまだ知らないので、AさんはBさんに教えている。Aさんは、「先週の水曜日の夜は変なことがあったんだよ!その夜は降ったのが砂じゃなかったんだよ。」と言った。Bさんは、「砂じゃなかったら、何だったの?」と聞いた。Aさんは、「雨になったよ。その夜に雨が降ったよ。」)

なぜ「複数の文成分+“了2”」構文が「特定の文成分+“了2”」構文に短縮されるという統語的变化が生じるのかについて、彭利貞(2011)、李文山(2011)、祁峰(2012)によれば、その「特定の文成分」が焦点であるからである。しかし、焦点には複数種類がある場合もあるが、その「特定の文成分」はどのような焦点であろうか。また、彭利貞(2009:506-517)、李文山(2011:104-108)、黄瓚辉(2016:42-58)から分かるように、一部の文成分は“了2”構文の焦点になりやすい。しかし、“了2”構文の焦点になりやすい文成分は何種類があるのかについては、彭利貞(2009:506-517)などにおいて説明されていない。

3-3 文末助詞“了”と語尾“了”の構文的相違

“了2”と“了1”の構文的相違については、位置関係の視点からみれば、“了2”は文末に生起し、“了1”は動詞の語尾に生起するということが明らかである。しかし、動相の視点からみれば、“了2”と“了1”の構文的相違は何かについては未だに考察されていない。考察されていない理由は、“了2”が動相標識としての地位を持つかどうかという問題についてまだ統一見解がないという現状に関わっていると考えられる。このように、動相の視点から“了2”と“了1”の構文的相違を考察する余地があるということが分かる。

3-4 文末助詞“了”の構文特徴に関する問題点

以上の分析に基づいて、“了2”の構文特徴に関する先行研究の問題点を表2でまとめる。

表 2. “了 2”の構文特徴に関する問題点

問題(11)	“了 2”の三域の意味を生み出すための構文的条件は何であろうか。
問題(12)	「複数の文成分+ “了 2”」構文が短縮された結果としての「特定の文成分+ “了 2”」構文において、その「特定の文成分」が焦点であれば、どのような焦点であろうか。
問題(13)	“了 2”構文以外の発話場面や文脈による影響を考慮しなければ、“了 2”構文の焦点になりやすい文成分は何であろうか。
問題(14)	「複数の文成分+ “了 2”」構文が短縮された結果としての「特定の文成分+ “了 2”」構文において、その「特定の文成分」は一体何によって決められるのであろうか。
問題(15)	「複数の文成分+ “了 2”」構文が短縮された結果としての「特定の文成分+ “了 2”」構文において、その「特定の文成分」と“了 2”は一体どのような関係を持つのか。
問題(16)	動相の視点からみれば、“了 2”と“了 1”の構文的相違は何であろうか。

(出所)筆者作成

4 文末助詞“了”の語用論的機能に関する先行研究とその問題点

中国語は、「厳密な語形変化規則が乏しく、(中略)その構造が不安定であるように見え、暗に含意するものが多く、人間の語感に頼るところも多い」²³⁾と指摘される(龔千炎 1994:5-6)。そのため、中国語は統語的特徴より、意味的特徴と語用論的特徴が際立つ言語であるとされる(刘丹青 1995:10-15)。例えば、“了 2”を研究するならば、“了 2”の統語的特徴より、“了 2”に関わっている文脈や語用論的要素を研究したほうがさらに重要であると指摘されている(赵立江 1997:123)。その理由については次の 2 点で説明される。第一に、「外国人が“了”を習得するということは、主に“了”をどのような発話場面に使用すれば適切であろうかということの習得である。単に“了 2”の文法や構文的特徴だけを勉強しても“了 2”の習得にあまり役立たない」という第二言語習得研究領域の結論があるからである²⁴⁾(黎天睦 1987:83)。第二に、“了 2”が含まれる文と“了 2”が含まれない文が同様の命題的意味を表すとすれば、その 2 つの文の使い分けを制約する要因の中で最も際立つのは語用論的要因であると指摘されているからである(王光全・柳英绿 2006:25-30)。そのため、“了 2”を研究するならば、“了 2”の語用論的機能を研究しなければならないということが分かる。

それでは、まず、何自然・吴亚欣(2001)に基づいて語用論という学問に関する歴史、位置づけ、研究対象などを簡単に紹介する。通常、意味論、統語論で説明され難い問題は語用論的問題として扱われる。20 世紀 60 年代まで、言語学において語用論はまだ重要視されておらず、「ぼろ入れ袋」(ragbag)や「ゴミ箱」(waste-paper basket)と例えられていたが、70 年代末になっては

じめて言語学において独立した学科に発達した。語用論は一体どのような問題を研究対象とするのかについては、研究者によって異なる意見が出されている。例えば、言外の意味に関する問題、文脈の意味に関する問題、どのように文脈から推論して意味を得るのかに関する問題、どのように発話者の発話意図を理解するのかに関する問題、どのように言語を活かして相互理解ができる談話を達成するのかに関する問題、対話者の相互作用に関する問題などの様々な意見がある。とにかく、意味の側面からみれば、語用論が扱うのは言内の意味ではなく、言外の意味である。つまり、発話場面や文脈から導き出される意味である。

また、中国語の「語気」というカテゴリーの語用論の本質を簡単に説明する。「ここ数年、中国語学でよく言われる『語気』というものの語用論の本質が認められてきて、『語気』は『談話機能を持つ語用論的内容』と再定義されている。語用論的機能は発話者の何らかの意図や目的を反映する機能であり、中国語の語気というカテゴリーも発話者の何らかの意図や目的に直結するものである。人間はそもそも何らかの意図や目的で発話するので、その発話意図を実現するために特定の発話様式または語気を選択しなければならない。例えば、他人に何らかの事柄を教えるための発話、何らかの事情をたずねるための発話、要求や命令を出すための発話、感嘆や不満の気持ちを伝えるための発話などに伴って、多種多様な語気が表される」²⁵⁾(姜雅楠 2016:56)。

“了2”は語気助詞とも呼ばれるので、“了2”の語用論の特徴は際立つはずである。“了2”の語用論の特徴が際立つことについては、次の3点で説明される。

第一に、どのような場合においても、“了2”は常に言外の意味や発話者の特定の使用意図などを際立たせるということがしばしば指摘される(武果・吕文华 1998:13-21、刘月华他 2001:383)。

第二に、「対話現場の状況に依存しない」「了1」構文に対して、“了2”構文は「対話現場の状況に依存する」ので(下地 2002:90)、別の発話場面や文脈が付与されなければ、一定の真理条件²⁶⁾・命題的意味さえも伝え難い。つまり、“了2”構文の意味は“了2”構文以外の発話場面や文脈に制約されるということである。例えば、次の(14)に内包される真理条件・命題的意味の曖昧さを考えよう。

(14)吃饭了。

(14)は、次の(15)に用いられると「ご飯を食べ終わるという出来事が生じた」という真理条件・命題的意味を伝え、(16)に用いられると「ご飯を食べ始めるという出来事が生じた」という真理条件・命題的意味を伝え、(17)に用いられると「ご飯を食べるという出来事はまだ生起しないが、まもなく生起する」という真理条件・命題的意味を伝える。

(15)A:你吃过饭了吗?

B:吃饭了。(王维贤 1997:178)

(A:ご飯を食べ終わったか。)

(B:ご飯を食べ終わった。)

(16)A:他吃饭了吗?

B:吃饭了。你看，他还在吃呢。

(A:彼はご飯を食べ始めたか。)

(B:ご飯を食べ始めたよ。ほら、まだ食べている。)

(17)亲属:来，吃饭了!

病人:好，吃饭了。(肖治野・沈家煊 2009:522)

(家族:ね、ご飯を食べるぞ。)

(病人:はいよ、ご飯を食べるから。)

第三に、別の発話場面や文脈が付与されなくても、一定の構文特徴を備えれば、“了2”構文は一定の真理条件・命題の意味を伝える場合もある。つまり、“了2”構文の意味は“了2”構文自体の構文特徴にも制約されるということである。例えば、上述の(14)と次の(18)を比較すれば分かるように、(14)の構文特徴は述語が“吃”(食べる)という動態動詞であるということであるが、(18)の構文特徴は述語が“便宜”(安い)という形容詞であるということである。別の発話場面や文脈が付与されなくても、(18)は「野菜が安くなった」という真理条件・命題の意味を伝えやすい。

(18)蔬菜便宜了。(=(2))

(野菜が安なった。)

このように、“了2”の意味を、“了2”構文以外の文脈的要素から推論する場合もあれば、“了2”構文自体に内在する文脈的要素から推論する場合もある²⁷⁾。したがって、中国語が語用論的特徴が際立つ言語であるということを裏付ける重要な証拠の1つは、“了2”という機能語の存在であると言っても過言ではない。

ところで、“了2”の語用論的機能に関する研究は非常に不足している。まず、“了2”の肯定する機能、新情報を伝える機能、旧情報を伝える機能、報告する機能、話題を終了させる機能、充足感を伝える機能、任意列挙する機能、相互作用する機能、聞き手の反応を期待する機能、指示・命令する機能、前提を提示する機能、結果を導き出す機能などの語用論的機能は、刘勋宁(1998)、刘月华他(2001)、谭春健(2004)、王光全・柳英绿(2006)、肖治野・沈家煊(2009)、

金立鑫・邵菁(2010)、陈前瑞・胡亚(2016)、刘娅琼(2016)などの先行研究に散在しているが、“了2”の語用論的機能の種類を網羅的に整理する先行研究は見られない。例えば、1923年から2013年までの90年間の“了2”に関する研究成果をまとめた孙大星(2018)においても、“了2”の語用論的機能は網羅的に整理されていない。また、先行研究において、“了2”の各語用論的機能の位置づけや形成要因などに関する体系的な考察も見られない。

以上の分析に基づいて、“了2”の語用論的機能に関する先行研究の問題点を表3でまとめる。

表3. “了2”の語用論的機能に関する問題点

問題(17)	先行研究において言及される“了2”の語用論的機能はどのぐらいあるのか。
問題(18)	“了2”の各語用論的機能の形成要因は何であろうか。
問題(19)	“了2”の新情報を伝える機能と旧情報を伝える機能は矛盾するよう見えるが、その矛盾点を如何に解消すればよいのか。

(出所)筆者作成

5 終わりに

以上、意味、形式・構文特徴、語用論的機能という3つの側面から文末助詞“了”の先行研究を検証して、まだ解明されていない問題点をより全面的に洗い出した。これから、“了2”に関する研究を深めるために、本論文で洗い出した問題点を明らかにしなければならないと考える。

<注>

- 1) 詳細については、太田(1958)、王力(1980)、刘勋宁(1998)、齐沪扬(2003)、高顺全(2006)、陈鹏飞(2007)などを参照のこと。
- 2) 基本的意味は典型的意味(prototypical meaning・プロトタイプの意味)とも呼ばれる(靛山・深田 2003:142、170)。
- 3) 詳細については、刘勋宁(1998)、刘月华他(2001)、吕文华(2010)などを参照のこと。
- 4) 詳細については、守屋(1995)、吕叔湘(1999)、高顺全(2006)などを参照のこと。
- 5) 原文は、“肯定事态出现了变化或即将出现变化”である。
- 6) 原文は、“以‘变化’的日常义为标准去判断是否需要加‘了2’，是学习者出现大量遗漏偏误的直接原因。因此，我们建议在教学中沿袭朱德熙(1982)的说法，将‘了2’的语法意义描述为‘新情况的出现’，而不是‘变化’。避免‘变化’的日常意义对学生的习得造成干扰”である。
- 7) 原文は、“‘变化、出现新事态’的意义其实是‘实现’义作用于命题(句子)时产生的附带效应”である。
- 8) 原文は、“所谓‘实现’，意思就是‘成为现实’，也就是‘发生’、‘出现’，‘实现’意思更宽泛一些。过去一般汉语教材中说表示‘出现了新的情况’，表示‘变化’，也是这个意思”である。
- 9) (1)は杉村(2009)の原文“那天晚上下雨了吗?”を書き換えたものである。
- 10) 詳細については、Chao(1948、1968)、朱德熙(1982)、竟成(1993)、刘勋宁(1998)、刘月华他(2001)、谭春健(2004)、王学群(2008)、肖治野・沈家煊(2009)、杉村(2009)、金立鑫・邵菁(2010)、張文青(2012)、周小兵・欧阳丹(2014)、陈前瑞・胡亚(2016)、黄瓚辉(2016)などを参照のこと。
- 11) 詳細については、郭穎侠(2003)、劉綺紋(2006)、刘娅琼(2016)、饶宏泉(2018)を参照のこと。
- 12) 出典を明記しない例文は筆者によるものである。
- 13) 原文は、“交叉的情形比我们现在想到的要复杂，还可以深入研究”である。
- 14) 原文は、“汉语‘了’的问题是关涉汉语动相体系全局的关键问题”である。

- 15) ここで述べている「一定の標識や語形変化」は屈折接辞、屈折とも呼ばれる(長屋 2015:54)。
- 16) 時制の概念については、陈平(1988)、龚千炎(1994)、何伟・马瑞芝(2011)、石塚(2015)などを参照のこと。
- 17) 詳細については、金立鑫(1998)、李铁根(2002)、刘勋宁(2002)、黄瓚辉(2016)などを参照のこと。
- 18) 詳細については、陈前瑞(2005)、陈前瑞・王继红(2012)、叶琼(2014)、陈前瑞・胡亚(2016)などを参照のこと。
- 19) 詳細については、赵立江(1997)、金立鑫(1999)、王洪君他(2009)、王巍(2010)、周小兵・欧阳丹(2014)、徐晶凝(2016)などを参照のこと。
- 20) “了2”が現在時制的意味を表すこともできるという主張については、李铁根(2002)、张黎(2010)を参照のこと。
- 21) 詳細については、Li 他(1982)、孔令达(1990)、卢英顺(1993)、张济卿(1998)、望月(2000)、Lin(2003)、彭小川・周芍(2005)、劉綺紋(2006)、Vandenberg and Wu(2006)、陈小红(2007)、张黎(2010)、張文青(2012)、何文彬(2013)、邹海清(2014)、张立昌(2014)、武村(2016)、陈前瑞・胡亚(2016)、夏炎青(2017)などを参照のこと。
- 22) (11)のB文は、邓宇阳(2019)の原文“下了。/?那天晚上。/?雨了。”を書き換えたものである。
- 23) 原文は、“缺乏严格意义的形态变化，(中略)结构独特，灵活多变，颇多隐含，着重意念”である。
- 24) 原文は、“一个外国人学习怎么用‘了’，实际上就是要学习在哪情况下用‘了’，单纯学习句子结构对他们不会有有多大帮助”である。
- 25) 原文は、“近些年，学者们逐渐认识到‘语气’的语用功能的本质，‘语气’的概念也被重新定义为‘一种语法范畴’，‘句子身上特有的表示话语功能类型的语用成分’。这里所谓的话语功能指的是话语能够反映说话者的语用目的，进而我们可以这样理解，句子的语气反映了句子的语用目的。人在言语交际过程中，总是要有一定的语用目的，或是向别人陈述事情，或是向别人询问事情，或是向别人提出请求或命令，或是向别人发出感叹或抱怨。诸如此类，多种多样的语用目的都可以借助丰富的语气表达出来”である。
- 26) 形式意味論の立場では、文のモダリティの意味が除外されて残される命題の意味が文の真理条件として扱われる(Lakoff 1987:299-301、Langacker 2008:35、祁峰 2012:177-178、坂原 2015:56、峯島 2015:217、徐烈炯 2017:176)。場合によって、真理条件は、言外の意味、語用論の意味などに対して述べる言内の意味、明言される意味なども指す(陈新仁 2015:838-849、澤田他 2017:33-36)。
- 27) ここで述べる「(“了2”の意味を)“了2”構文自体に内在する文脈の要素から推論する」ということは「語用論的拡充」(pragmatic enrichment・pragmatic embellishment)に関わっている。「語用論的拡充」とは、ある文に含まれる明示的な意味情報から、その文以上の意味情報を導き出すということである(陈新仁 2015:839-840)。

<引用文献>

- 陈鹏飞(2007), 〈组合功能变化与“了”语法化的语音表现〉, 《河南社会科学》第2期, pp.138-140
陈平(1988), 〈论现代汉语时间系统的三元结构〉, 《中国语文》第6期, pp.401-421
陈前瑞(2005), 〈句尾“了”将来时间用法的发展〉, 《语言教学与研究》第1期, pp.66-73
陈前瑞・胡亚(2016), 〈词尾和句尾“了”的多功能模式〉, 《语言教学与研究》第4期, pp.66-74
陈前瑞・王继红(2012), 〈从完成体到最近将来时一类型学的罕见现象与汉语的常见现象〉, 《世界汉语教学》第2期, pp.158-174
陈前瑞・吴继章(2019), 〈从方言语音看“了”的功能演化〉, 《汉学学报》第2期, pp.48-60
陈小红(2007), 〈“了1”、“了2”语法意义辨疑〉, 《语言教学与研究》第5期, pp.54-60
陈新仁(2015), 〈语文学与语用学的分界:一种新方案〉, 《外语教学与研究》第6期, pp.838-849
邓思颖(2013), 〈再谈“了2”的行、知、言三域—以粤语为例〉, 《中国语文》第3期, pp.195-200
邓宇阳(2019), 〈重新探讨行域层面的句末助词“了”的语义及其生成机制〉, 『言語研究』第4号, pp.42-54
高顺全(2006), 〈从语法化的角度看语言点的安排—以“了”为例〉, 《语言教学与研究》第5期, pp.60-66
龚千炎(1994), 〈现代汉语的时间系统〉, 《世界汉语教学》第1期, pp.1-6
郭锐(2008), 〈语义结构和汉语虚词语义分析〉, 《世界汉语教学》第4期, pp.5-15
何伟・马瑞芝(2011), 〈现代汉语时间系统研究综述〉, 《北京科技大学学报》第1期, pp.19-27
何文彬(2013), 〈论语气助词“了”的主观性〉, 《语言研究》第1期, pp.10-18
何自然・吴亚欣(2001), 〈语用学概略〉, 《外语研究》第4期, pp.10-16
黄瓚辉(2016), 〈“了2”对事件的存在量化及标记事件焦点的功能〉, 《世界汉语教学》第1期, pp.42-58

- 金立鑫(1998),〈试论“了”的时体特征〉,《语言教学与研究》第1期, pp.105-119
- 金立鑫(1999),〈现代汉语“了”研究中“语义第一动力”的局限〉,《汉语学习》第5期, pp.1-5
- 金立鑫(2003),〈“S了”的时体意义及其句法条件〉,《语言教学与研究》第2期, pp.38-48
- 金立鑫·邵菁(2010),〈Charles N.Li等“论汉语完成体标记词‘了’的语用驱动因素”中某些观点商榷〉,《当代语言学》第4期, pp.319-325
- 竟成(1993),〈关于动态助词“了”的语法意义问题〉,《语文研究》第1期, pp.52-57
- 孔合达(1990),〈“了1”句与“了2”句的语义比较—兼论现代汉语动态助词研究的方法〉,《安徽师大学报》第1期, pp.101-108
- 黎天睦(1987),《现代外语教学法理论与实践》,北京:北京语言学院出版社
- 李铁根(2002),〈“了”、“着”、“过”与汉语时制的表达〉,《语言研究》第3期, pp.1-13
- 李文山(2011),〈焦点敏感副词与“了2”同现的语义条件〉,《语言教学与研究》第5期, pp.104-108
- 刘丹青(1995),〈语义优先还是语用优先〉,《语文研究》第2期, pp.10-15
- 刘勋宁(1998),《现代汉语语言研究》,北京:北京语言文化大学出版社
- 刘勋宁(2002),〈现代汉语句尾“了”的语法意义及其解说〉,《世界汉语教学》第3期, pp.70-79
- 刘娅琼(2016),〈现场讲解中用于交互的句尾“了”〉,《中国语文》第6期, pp.665-677
- 刘月华·潘文娉·故麟(2001),《实用现代汉语语法》,北京:商务印书馆
- 娄雅楠(2016),〈浅谈现代汉语语气词“了”〉,《语文学刊》第9期, pp.55-56
- 陆方喆(2014),〈基于语料库的助词“了”研究〉,《宁波大学学报》第4期, pp.43-47
- 卢英顺(1993),〈试论“这本书我看了三天了”的延续性问题〉,《汉语学习》第4期, pp.22-24
- 吕叔湘(1999),《现代汉语八百词(增订本)》,北京:商务印书馆
- 吕为光(2007),〈“了”的“有界”功能〉,《湖北经济学院学报》第3期, pp.147-149
- 吕文华(2010),〈“了”的教学三题〉,《世界汉语教学》第4期, pp.548-556
- 望月圭子(2000),〈汉语里的“完成体”〉,《汉语学习》第1期, pp.12-16
- 彭利贞(2011),《从语义到语法》,北京:中国社会科学出版社
- 彭小川·周芍(2005),〈也谈“了2”的语法意义〉,《学术交流》第1期, pp.136-141
- 祁峰(2012),《现代汉语焦点研究》,上海复旦大学中国语言文学学科博士学位论文
- 齐沪扬(2003),〈语气词“的”、“了”的虚化机制及历时分析〉,《忻州师范学院学报》第2期, pp.30-36
- 饶宏泉(2018),〈从篇章时间推进看句末“了”的时体属性〉,《汉语学习》第3期, pp.74-82
- 沈家煊(2003),〈复句三域“行、知、言”〉,《中国语文》第3期, pp.195-204
- 沈开木(1987),〈“了2”的探索〉,《语言教学与研究》第2期, pp.4-19
- 石定栩·胡建华(2006),〈“了2”的句法语义地位〉,中国语文杂志社(编),《语法研究和探索(第13辑)》, pp.94-112, 北京:商务印书馆
- 史冠新(2011),〈再论“了2”不是语气词〉,《山东社会科学》第12期, pp.157-160
- 税昌锡(2012),〈基于事件过程结构的“了”语法意义新探〉,《汉语学报》第4期, pp.44-58
- 杉村博文(2009),〈事件脚本和“了2”的用法表述〉,《对外汉语研究》第1期, pp.1-12
- 孙大星(2018),〈现代汉语句末语气词“了”的研究历程〉,《贵州工程应用技术学院学报》第1期, pp.93-102
- 谭春健(2003),〈如何体现“变化”—关于句尾“了”理论语法与教学语法的接口〉,《语言教学与研究》第3期, pp.73-80
- 谭春健(2004),〈句尾“了”构成的句式、语义及语用功能〉,《汉语学习》第2期, pp.26-31
- 王光全·柳英绿(2006),〈同命题“了”字句〉,《汉语学习》第3期, pp.25-30
- 王洪君·李榕·乐耀(2009),〈“了2”与话主显身的主观近距离交互式语体〉,北京大学汉语语言学研究中心(编),《语言学论丛(第40辑)》, pp.312-333, 北京:商务印书馆
- 王力(1980),《汉语史稿》,北京:中华书局
- 王伟(2006),《现代汉语“了”的句法语义定位》,中国社会科学院语言学科博士学位论文
- 王巍(2010),《语气词“了”的隐现规律研究》,吉林大学文学院博士学位论文
- 王维贤(1997),《现代汉语语法理论研究》,北京:语文出版社
- 王学群(2008),〈试论“了”的共性语法意义和语气性〉,《语学教育研究论丛》第25号, pp.75-90
- 吴凌非(2002),〈论“了1”和“了2”〉,《语言研究》第1期, pp.23-27
- 武果·吕文华(1998),〈“了2”句型场试析〉,《世界汉语教学》第2期, pp.13-21
- 夏炎青(2017),《现代汉语句末助词“了”的句法语义属性及其对语序的影响》,上海外国语大学言语研究院博士学位论文
- 肖治野·沈家煊(2009),〈“了2”的行、知、言三域〉,《中国语文》第6期, pp.518-527
- 徐晶凝(2016),〈主观近距离交互式书面叙事语篇中“了”的分布〉,《汉语学习》第3期, pp.74-84
- 徐烈炯(2017),〈焦点的不同概念及其在汉语中的表现形式〉,《现代中国语研究》第2期, pp.172-190

- 杨凯荣(2013),〈从表达功能看“了”的隐现动因〉,《汉语学习》第5期, pp.31-43
- 叶琼(2014),〈“第1人称+V+了2”格式的将然语义解读〉,《华文教学与研究》第3期, pp.85-91
- 张宝胜(2011),〈也说“了2”的行、知、言三域〉,《中国语文》第5期, pp.427-429
- 张济卿(1998),〈论现代汉语的时制与体结构(下)〉,《语文研究》第4期, pp.18-26
- 张黎(2010),〈现代汉语“了”的语法意义的认知类型学解释〉,《汉语学习》第6期, pp.12-21
- 张立昌(2014),《汉语完整体“了”结构的时体合成模型》,上海復旦大学中国語語文学科博士学位論文
- 赵立江(1997),〈留学生“了”的习得过程考察与分析〉,《语言教学与研究》第2期, pp.112-124
- 周小兵・欧阳丹(2014),〈日本学习者句末助词“了2”的习得情况考察〉,《华文教学与研究》第4期, pp.8-15
- 朱德熙(1982),《语法讲义》,北京:商务印书馆
- 邹海清(2004),〈句尾“了”的语法意义〉,《乐山师范学院学报》第11期, pp.34-45
- 石塚政行(2015),「テンス(時制)」,斎藤純男・田口善久・西村義樹(編),『明解言語学辞典』, p.161, 東京:三省堂
- 太田辰夫(1958),『中国語歴史文法』,東京:江南書院 [蒋绍愚・徐昌华(訳)(2003),《中国语历史文法》,北京:北京大学出版社]
- 郭穎侠(2003),「“是…的”構文の焦点と時制の問題」,『現代社会文化研究』第27号, pp.215-232
- 坂原茂(2015),「形式意味論」,斎藤純男・田口善久・西村義樹(編),『明解言語学辞典』, p.56, 東京:三省堂
- 澤田淳・小野寺典子・東泉裕子(2017),「周辺部研究の基礎知識」,小野寺典子(編),『発話のはじめと終わり:語用論的調節のなされる場所』, pp.3-51, 東京:ひつじ書房
- 下地早智子(2002),「現代中国語におけるアスペクト助詞“了”と『文終止』問題について」,『神戸外大論叢』第1号, pp.77-96
- 朱繼征(2000),『中国語の動相』,東京:白帝社
- 武村朝吉(2016),「“了2”について」,『沖繩キリスト教院大学論集』第12号, pp.28-35
- 張文青(2012),「“了”の教授法に関する試み」,『ボリグロシア』第22巻, pp.105-122
- 長屋尚典(2015),「屈折・派生」,斎藤純男・田口善久・西村義樹(編),『明解言語学辞典』, p.54, 東京:三省堂
- 峯島宏次(2015),「命題」,斎藤純男・田口善久・西村義樹(編),『明解言語学辞典』, p.217, 東京:三省堂
- 初山洋介・深田智(2003b),「多義性」,松本曜(編),『認知意味論』, pp.135-186, 東京:大修館書店。
- 守屋宏則(1995),『やさしくくわしい中国語文法の基礎』,東京:東方書店
- 劉綺紋(2006),『中国語のアスペクトとモダリティ』,大阪:大阪大学出版会
- Chao, Yuenren (1948). *Mandarin Primer: An Intensive Course in Spoken Chinese*. Massachusetts: Harvard University Press [李榮(訳)(1952),《北京口语语法》,北京:开明书店]
- Chao, Yuenren (1968). *A Grammar of Spoken Chinese*. Berkely: University of California Press [吕叔湘(訳)(1979),《汉语口语语法》,北京:商务印书馆]
- Comrie, Bernard (1985). *Tense*. Cambridge: Cambridge University Press
- Lakoff, George (1987). *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*. Chicago: The University of Chicago Press [池上嘉彦・池上誓作他(訳)(1993),『認知意味論——言語から見た人間の心』,東京:紀伊國屋書店]
- Langacker, Ronald (2008). *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*. Oxford: Oxford University Press [山梨正明(監訳)(2012),『認知文法論序説』,東京:研究社]
- Li, Charles. Thompson, Sandra and Thompson, McMillan (1982). *The Discourse Motivation for the Perfect Aspect: The Mandarin Particle LE*. In Hopper, Paul (Ed.). *Tense-aspect: Between Semantics & Pragmatic*. Amsterdam: John Benjamins Publishing Company [徐赳赳(訳)(1994),〈已然体的话语理据:汉语助词“了”〉,戴浩一・薛凤生(編),《功能主义与汉语语法》, pp.117-138, 北京:北京语言学院出版社]
- Lin, Jowang (2003). *Temporal Reference in Mandarin Chinese*. *Journal of East Asian Linguistics*. No. 3. pp.259-311
- Sweetser, Eve (1990). *From Etymology to Pragmatics: Metaphorical and Cultural Aspects of Semantics Structure*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Vandenberg, Marinus and Wu, Guo (2006). *The Chinese Particle Le: Discourse Construction and Pragmatic Marking in Chinese*. London: Routledge

主指導教員(朱繼征教授)、副指導教員(大竹芳夫教授・山田陽子准教授)